

平成14年7月 台風6号洪水

## 北上川上流水害写真集

# 目次

はじめに .....	1
1. 洪水の概要 .....	2
2. 洪水の特徴 .....	4
3. 気象観測記録 .....	8
4. 出水記録 .....	10
5. 空から見た洪水状況 .....	18
6. 各地区の被害状況 .....	94
7. 洪水予報及び気象予報 .....	156
8. 河川情報の提供 .....	158
9. 水防活動 .....	160
台風6号に伴う災害被害状況 .....	164
台風6号に伴う各市町村被害の内訳 .....	165
10. 一関遊水地事業の効果 .....	166
11. 五大ダムの洪水概要 .....	168
12. 水害新聞記事 .....	174

巻末資料…北上川の浸水実績

右写真／水沢市桜木橋付近





# はじめに

非常に強い台風6号の接近と、東北地方に停滞していた梅雨前線の活発化の影響で、7月9日夕方から雨が降り始め、その後7月11日の夜まで、岩手県ほぼ全域で大雨となりました。

この大雨の影響で、7月11日1時に一関市の磐井川釣山水位観測所の水位が指定水位を超えたのを皮切りに北上川の水位は全川にわたり上昇の一途をたどり、館坂橋、明治橋、紫波橋、朝日橋、男山、桜木橋、大曲橋、狐禅寺、諏訪前、七日町、安野（猿ヶ石川）、釣山（磐井川）、妻神（砂鉄川）の水位観測所において警戒水位を超え、なかでも紫波橋、朝日橋、男山、桜木橋、大曲橋、狐禅寺、諏訪前の水位観測所においては、危険水位を超える出水となりました。

一関市狐禅寺上流域の2日間の流域平均雨量は158mm、狐禅寺観測所の水位は13.51mを記録し、この水位は、昭和22年のカスリン台風、昭和23年アイオン台風に次ぐ戦後3番目となる大規模な洪水です。

今回の洪水は岩手県内に、死者2名、重軽傷者8名、全壊・半壊・床上・床下浸水家屋が3677世帯、農地冠水7042ha、避難者数約16000人となる甚大な被害をもたらし、岩手県内の被害総額は8月31日現在で約705億円にものぼり、この台風6号による被害としては、全国で最も大きい被害となりました。

この「北上川上流水害写真集」は今回の洪水の出水状況の記録をとりまとめたものであり、本書が今後の河川整備・道路整備、防災体制の強化、水防活動等に活用されることを期待しております。

最後に本書編集にあたり、情報提供にご協力いただいた岩手県、北上川流域沿川市町村、岩手県社会福祉協議会ボランティア活動振興センター、報道関係、盛岡地方気象台はじめ関係各位のみなさまに感謝申し上げます。

平成15年1月

国土交通省 東北地方整備局

岩手工事事務所長 中村 敏一